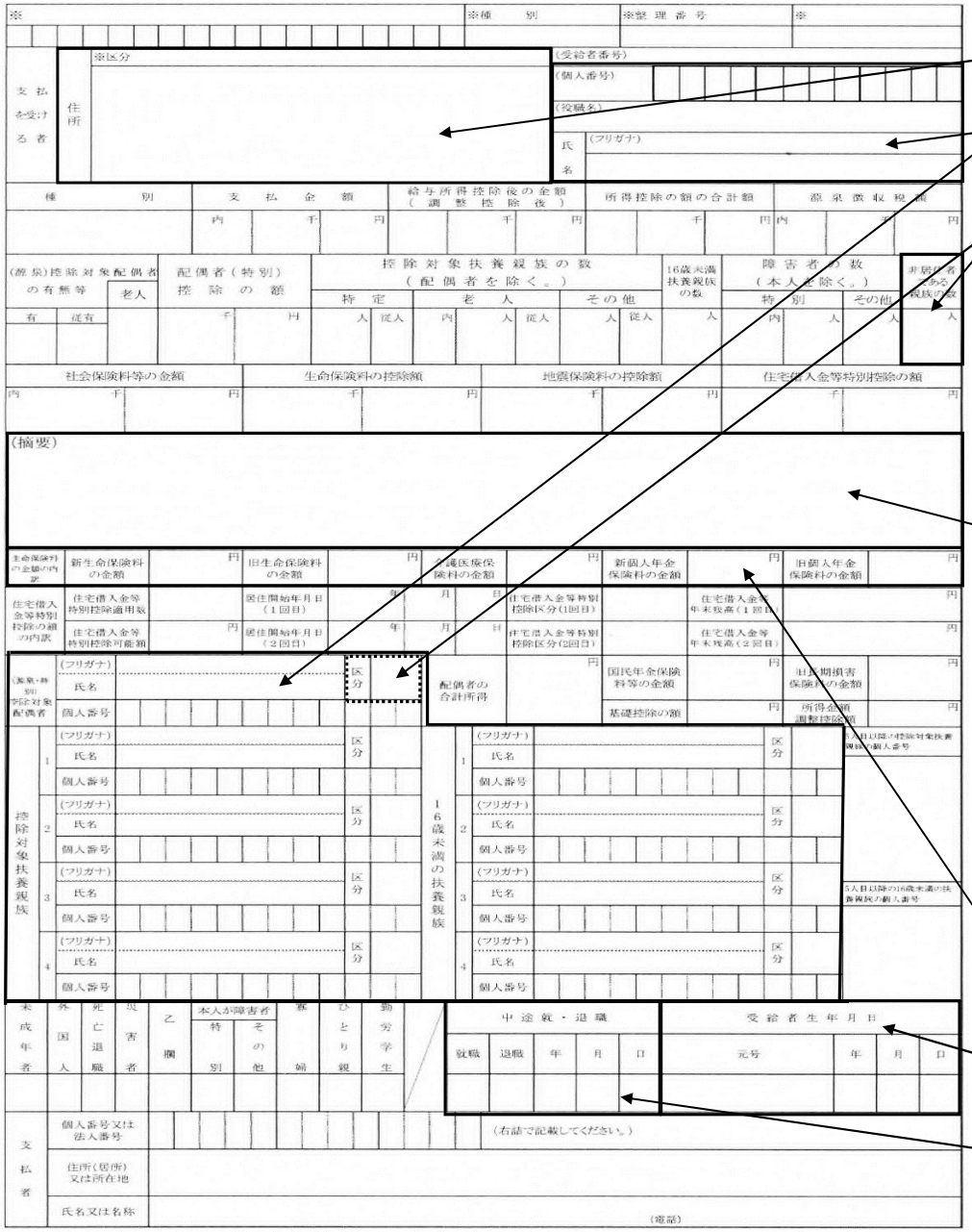
給与支払報告書（個人別明細書） 留意点

※記載にあたっては、国税庁のWebサイト「給与所得の源泉徴収票等の法定調書の作成と提出の手引」、「年末調整の仕方」等をご参照ください。



令和7年1月1日時点の住所を記載してください。

個人番号、フリガナを記載してください。

日本国外に居住する扶養親族の人数を記載してください。
また、Webサイト等を参照し、「控除対象扶養親族」の「区分」の欄に該当の数字を記載してください。

◎**専従者給与**の場合
「**専給**」と記載してください。

◎定額減税について
年末調整で実際に控除した定額減税額を「源泉徴収時所得税減税控除済額」として記載し、
年末調整で控除しきれなかった額を「控除外額」として記載してください。

◎**前職分給与を通算して年末調整をした場合**
給与支払額、社会保険料、源泉徴収税額、支払者名、支払者の住所、退職年月日を記載してください。

◎**同一生計配偶者（控除対象配偶者を除く）**がある場合
同一生計配偶者の氏名及び同一生計配偶者である旨を記載してください。（例「氏名（同配）」）

◎所得金額調整控除を適用する場合
- ・要件1　本人が特別障害者の場合は、「本人が障害者」の「特別」の欄に「○」をつけてください。
- ・要件2　同一生計配偶者が特別障害者の場合は、「同一生計配偶者の氏名（同配）」と記載してください。
- ・要件3　扶養親族が特別障害者、年齢23歳未満の場合、「扶養親族の氏名（調整）」と記載してください。

新生命保険料、旧生命保険料、介護医療保険料、新個人年金保険料、旧個人年金保険料のそれぞれの**支払額**を記載してください。
※誤って控除額を記入しないようにご注意ください。

生年月日の記載漏れがないようご注意ください。

就職・退職が混在する場合、最新の事由のみ記載してください。
システムの仕様などでどちらも記載される場合は、古い事由を二重線で消してください。